

新型コロナウイルス感染症対策として、日本ソフトボール協会からガイドラインが提示されている。

（「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）におけるソフトボール活動の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」）

神奈川県ソフトボール協会 審判委員会の競技ガイドライン補足が発行されている。

（「新型コロナウイルス感染予防対策 競技ガイドライン」）

横須賀市文化スポーツ観光部スポーツ振興課社会体育係からは、学校体育施設の利用に関する注意事項が通達されている。

（「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う学校体育施設の利用に関する注意事項について」）

これらを踏まえ、（県少連）横須賀支部としてソフトボール活動実施時に行うべき感染予防対策ガイドラインを纏めました。この内容は、上記の各種ガイドラインから、基本的事項と考えられるものを抜粋して取り纏めたもので、全てに対応している訳ではありません。状況により必要となった内容は、主催責任者等の判断で、追加実施していただくようお願いします。また、内容の更新を行う必要が生じたときは、適時更新いたします。

## 1. 基本方針

選手、指導者、保護者など、関係する全ての人が安全に活動できることを基本とする。

- (1) 3密を避けること。
- (2) 体調管理を徹底すること。
- (3) 衛生管理を徹底すること。

## 2. 具体的な実施内容

### 2.1 3密を避ける

#### (1) 参加者を最小とする

- ・チーム責任者は、参加者を、選手、スタッフ、保護者に限定するなど、必要な人員だけとする。
- ・応援だけに来る人は、参加しないようお願いする。
- ・大会等の運営スタッフも必要最小の人員とする。
- ・説明会、抽選会等は可能な限り小規模で開催する。
- ・開会式、閉会式は、原則として行わない。

#### (2) ソーシャルディスタンスを確保する。

- ・ベンチ内では密着を防ぐため、全員が必要距離を取るよう、指導と注意を行う。
- ・試合開始、終了時の挨拶は、ベンチ前に間隔を取り整列して行う。
- ・グラウンド内で円陣を組むなどは、行わない。
- ・ハイタッチなど、身体の接触は避ける。
- ・休憩時間等に、密着状態とならないよう注意、指導する。
- ・大会スタッフ等も、常に必要な距離を保つようにする。

#### (3) 試合に出場している選手以外は、参加者全員がマスクを着用する。ただし、熱中症対応など健康管理上の理由がある時は、チーム指導者、主催者の判断でマスク着用を中止しても良い。

#### (4) 大声での会話は行わない。

#### (5) 応援で、大声を出す、肩を組む、メガホン・鳴り物等の用具の使用などを行ってはならない。

### 2.2 体調管理を徹底する

#### (1) 大会主催者や公的部署から体調管理の報告様式が指定されている場合、それに従う。

- ・大会主催者が体調管理資料の提出を大会出場条件としている時は、それに従う。

#### (2) チーム責任者は、チームの出席者（参加者）全員の開催当日の体調を確認し、記録する。

（参考として、別途様式「健康状態申告書（チーム用・大会役員用）」を添付する。）

- ・記録すべき内容は、氏名、当日の体温及び健康状態などとする。
- ・この記録は、感染予防上の必要から、公的部署(保健所など)より提示を求められる場合がある。  
それに対応できるようにするため、開催日以降2週間は保管する。
- ・大会終了後2週間以内に、参加者から新型コロナウイルス感染症の患者が発生した場合、濃厚接触者の有無を確認し、大会主催者に報告する。

(3)大会スタッフについては、大会主催者が全員の体調確認を行い、記録する。

- ・記録内容、提示、保管については、上記(1)と同じである。

(4)チーム責任者、大会主催者は、体調不良が疑われる人を参加させてはならない。

- ・当日、体調不良(37.5度以上の発熱や風邪の症状、倦怠感、味覚・嗅覚異常など)が確認された人を、参加させてはならない。

(5)熱中症にならないよう注意する

- ・特に夏の間、マスクを着用するので、熱中症の発生が心配される。必要な水分補給等はしっかりと行うよう指導する。
- ・飲用水やタオルなどは個人専用のものを用意させ、他人との共用は避ける。

## 2.3 衛生管理を徹底する

(1)チーム責任者、大会責任者はアルコール消毒液、次亜塩素酸水などを用意し、参加者全員の入場・退場時等の消毒を徹底する。

(2)用具の共用を極力少なくする。やむを得ず共用する場合は、使用後次の使用までに消毒(洗浄)するなどの対策を行う。

(3)試合球は、以下の扱いとする。

- ・控え審判又はスタッフが手袋をして取り扱い、直接捕手に渡す。
- ・ボールデッドとなり、守備チーム以外の人に触ったボールは回収し、消毒(洗浄)する。
- ・攻守交代時、試合球は守備側選手が控え審判又はスタッフに渡し、消毒(洗浄)する。

(4)試合終了後、選手は必ず消毒又は手洗いをを行う。

(5)ベンチの固定式椅子などは、試合終了時にチームで清掃(消毒)する。

(6)ゴミは片づけ持ち帰る。

(7)グラウンド整備(開始時、終了時とも)は、手袋を着用して行う。

(8)終了時、グラウンド以外(トイレなど)の使用設備についても清掃(消毒)を必ず行う。

以上

## コロナウイルス感染症対策ガイドラインを基準とした大会等の運営についての補足

令和2年8月8日  
支部長 宮川交立

横須賀支部としてのガイドラインなので、市内の大会などはこれに則っての運営をお願いする。大会運営等で、判断材料が必要となると考え、以下の具体例を参考として例示する。

### 密状態を防ぐため

#### <実施具体策の例>

- ①全チームを集めての説明会、抽選会は行わない。  
要項は、出場チームに個別配布する。  
抽選会に選手は出席させず、代表役員による代理抽選などを考える。
- ②1チームの出場可能人数を、大会会場の状況などを勘案し、制限する。  
例えば、1チーム、選手・15人以内;指導者、保護者、応援者・15人以内の30人など。
- ③開会式、閉会式は行わない。  
簡略化した表彰(表彰状の授与)を行う場合は、試合終了後速やかに行う。
- ④チームの入場指定時間を設け、指定時間以前のグラウンド入場は認めない。  
試合開始1時間前の入場指定とするなど、常時、最小限のチーム数で運営する状態としたい。
- ⑤延長戦は行わず、試合終了時同点の場合は、直ちに抽選を行う。  
ただし、決勝戦でタイブレークルール適用するなどは、主催者の判断とする。
- ⑥試合終了チームは、速やかにグラウンドから退出するよう指導する。

以上